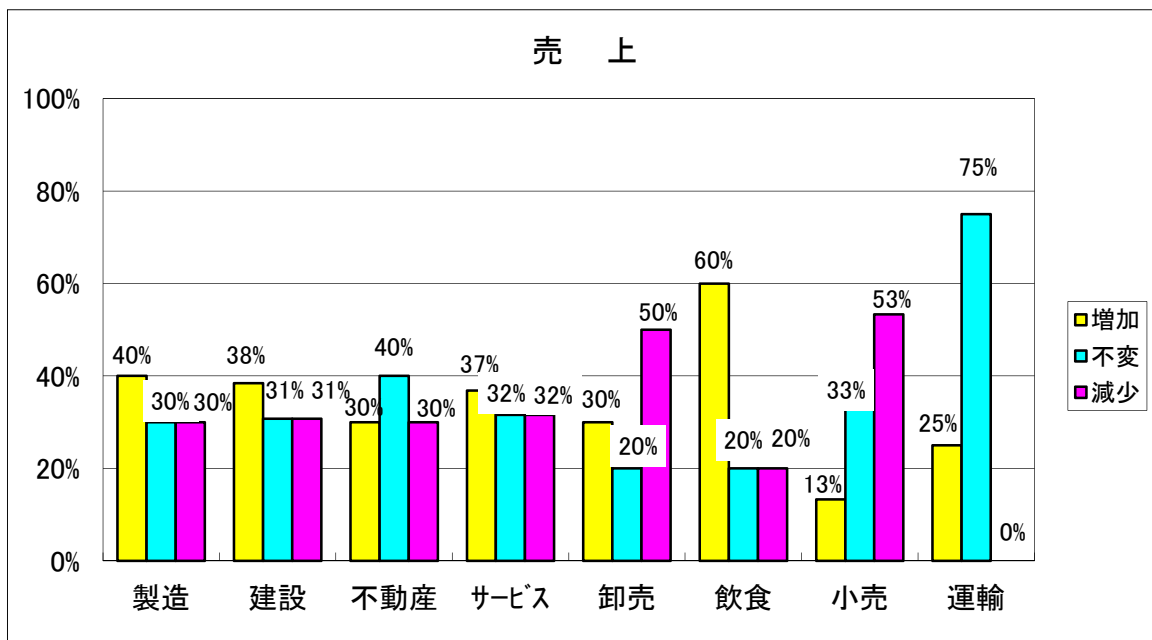


調査1 平成25年1月～6月の水準が、昨年同時期と比べてどのような推移をしているかを①売上 ②採算 ③仕入単価 ④従業員 ⑤業界の景気動向 ⑥資金繰り ⑦金融機関の融資状況の7項目について調査した。各項目について、業種別で集計したところ次のとおりとなった。なお、⑤業界の景気動向については過去の調査結果と及び平成25年下期の見通しについて比較表示してある。

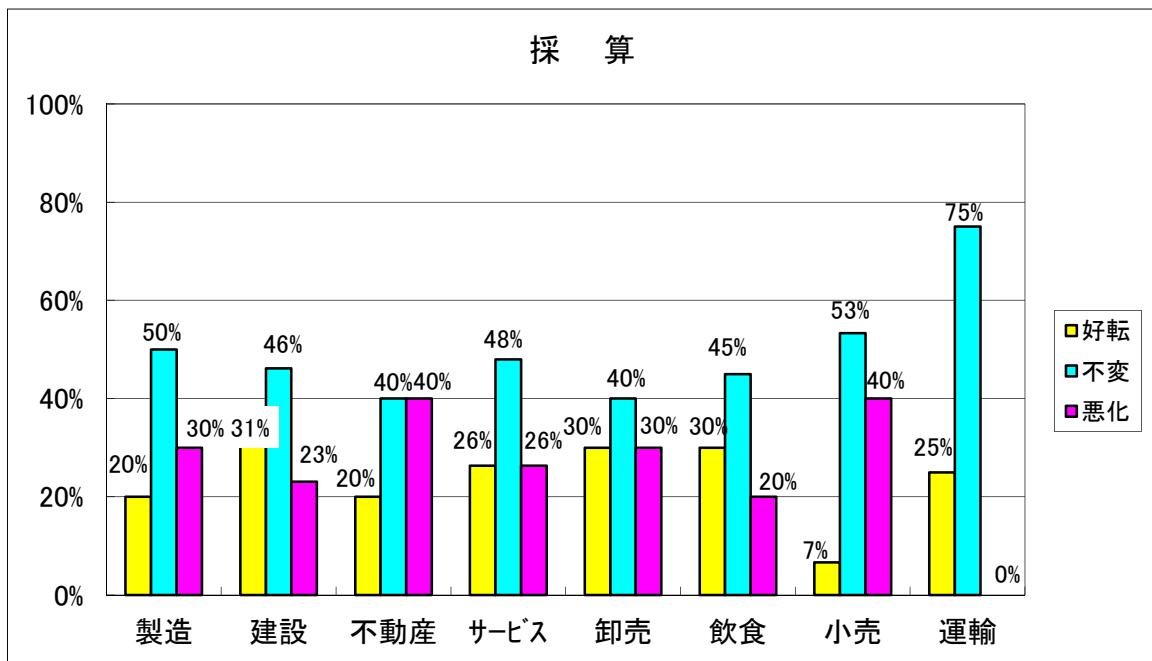
①売上について

全体で見ると、増加が34%（前回25%）、減少が31%（前回45%）となった。売上増加が顕著なのが飲食業で前回調査では8%であったが今回60%と増加している。次いで製造業（40%）、建設業（38%）となっている。売上減少なのが小売業（53%）、卸売業（50%）となり、特に卸売業では前回調査に比べ16%悪化している。



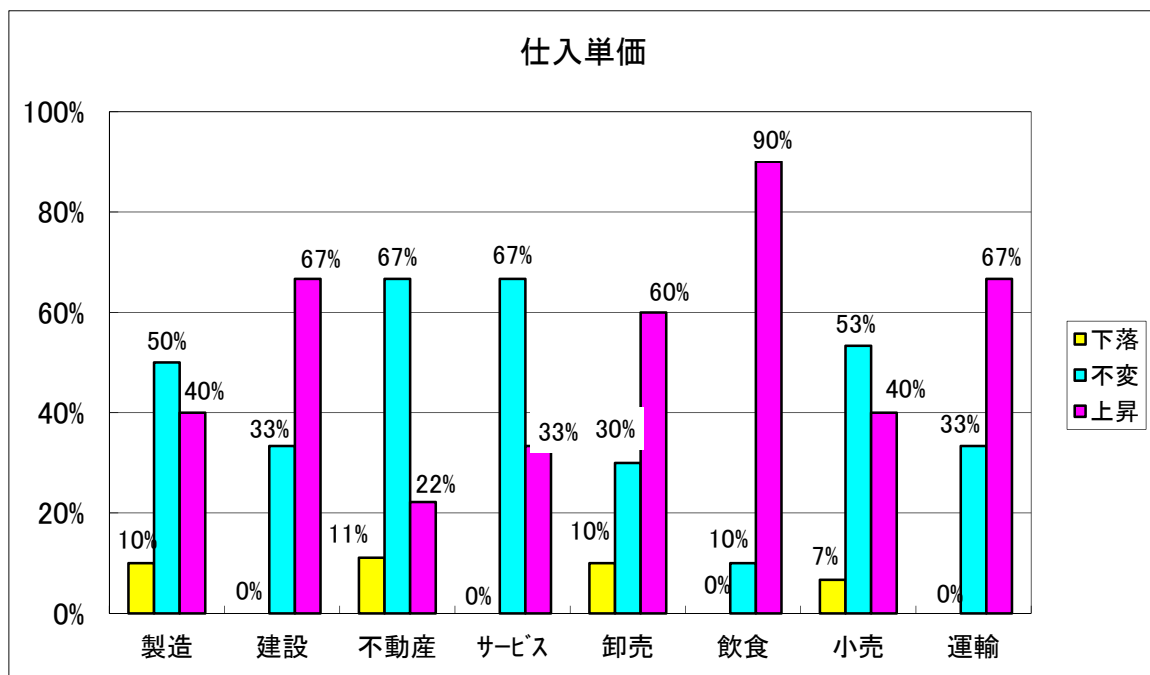
②採算について

全体で見ると、「好転」24%（前回16%）、「不変」50%（前回40%）、「悪化」26%（前回44%）であり、前回と比較すると若干改善傾向になっている。前回と比べて好転している業種は、運輸業（0%→25%）、飲食業（8%→30%）と改善されている。



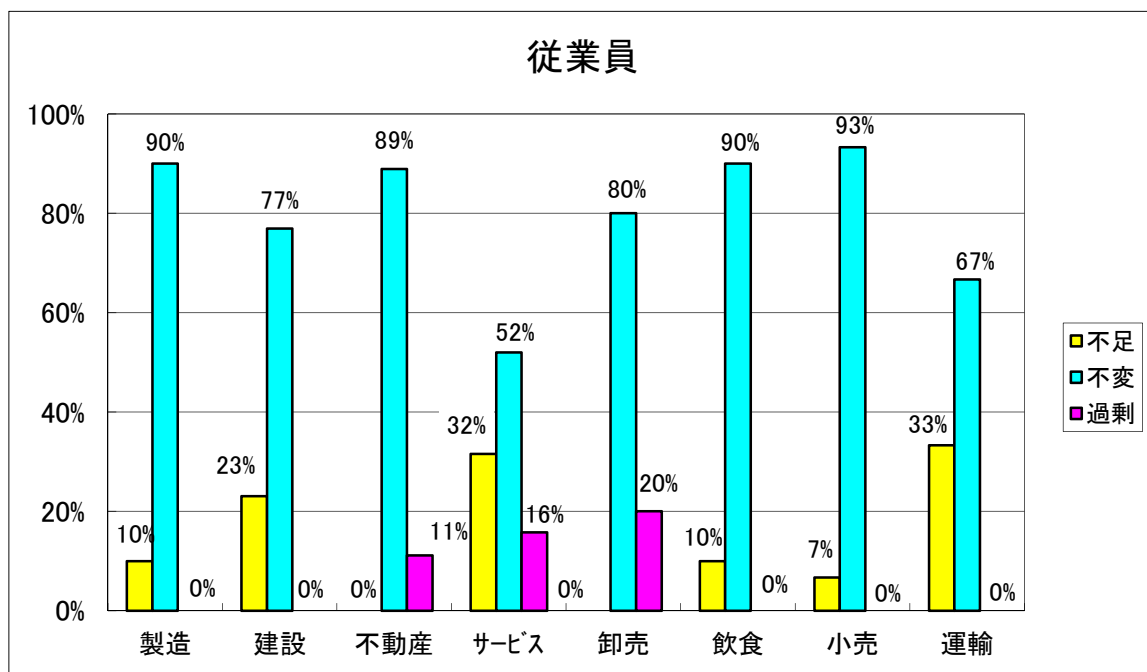
### ③仕入単価について

仕入単価が「上昇」しているのが飲食業で(83%→90%)と7%アップしており、卸売業(11%→60%)と49%アップしている。円安や天候不順による原材料の高騰が影響している。

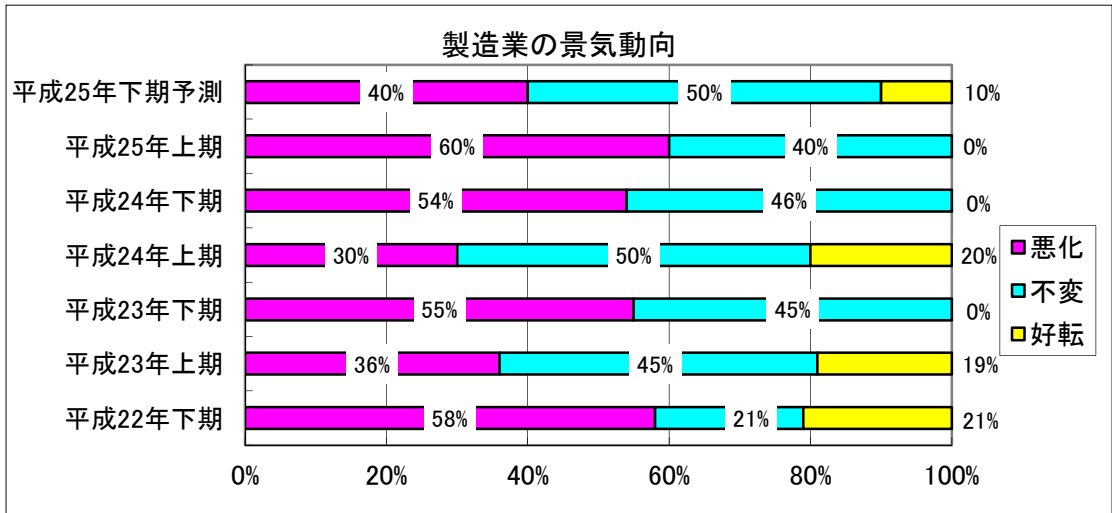


### ④従業員について

全体で見ると「不変」と回答が多いなか、「不足」と回答が多いのが運輸業(33%)であるが前回に比べると27%減り改善されている。サービス業は前回より16%増え不足が顕著になっている。

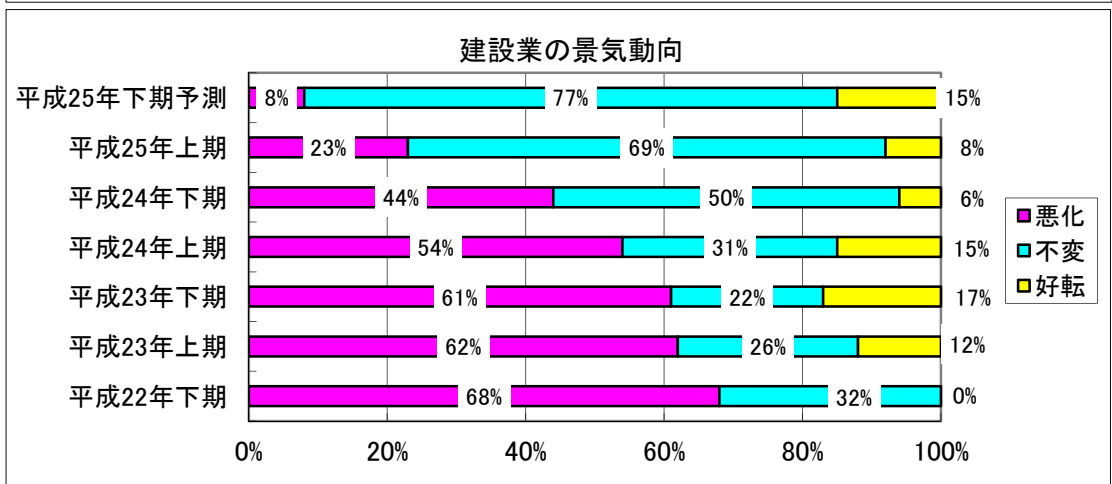


⑤業界の景気動向について



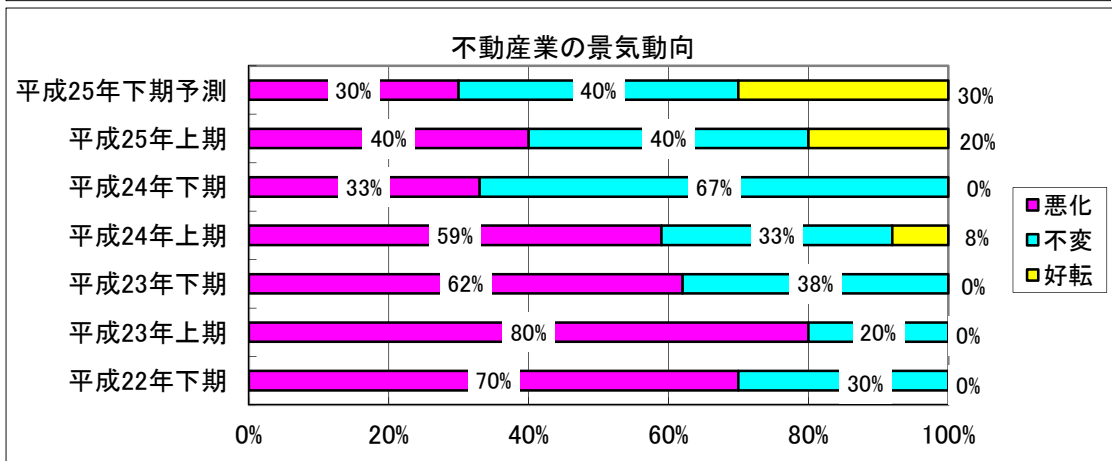
■製造業

平成25年上期では、悪化が60%で前回より6%アップし景気が低迷している。平成25年下期の見通しでは、10%の企業が「好転」になると回答し、若干景気の上向きが期待される。



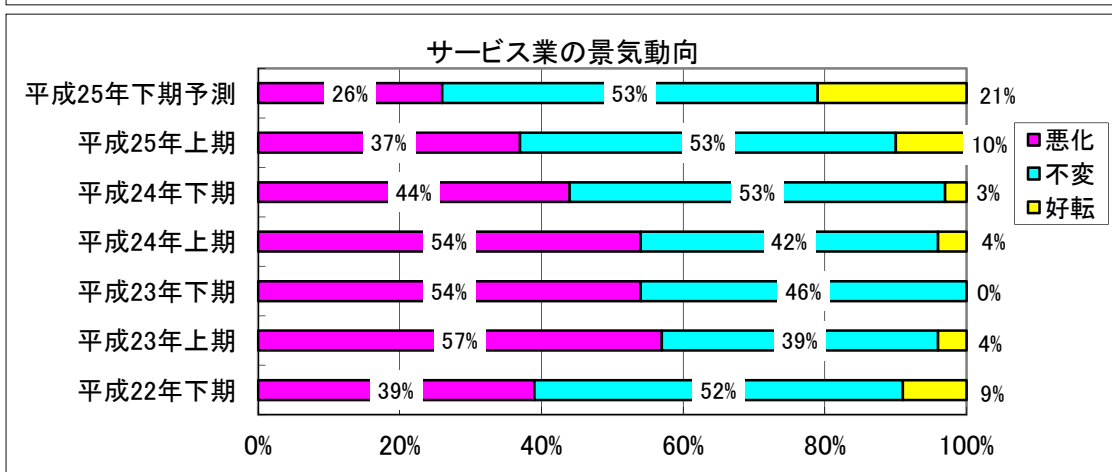
■建設業

平成25年上期では、「好転」が8%、「不変」が69%で「悪化」が23%と徐々に回復の兆しがみられる。この傾向は、下期の見通しでも感じられる。



■不動産業

平成25年上期は、「好転」が20%となり前回調査よりも景気の上向きが感じられる。下期見通しでは、「好転」が30%、「不変」が40%となっている。徐々に景気回復が期待される。

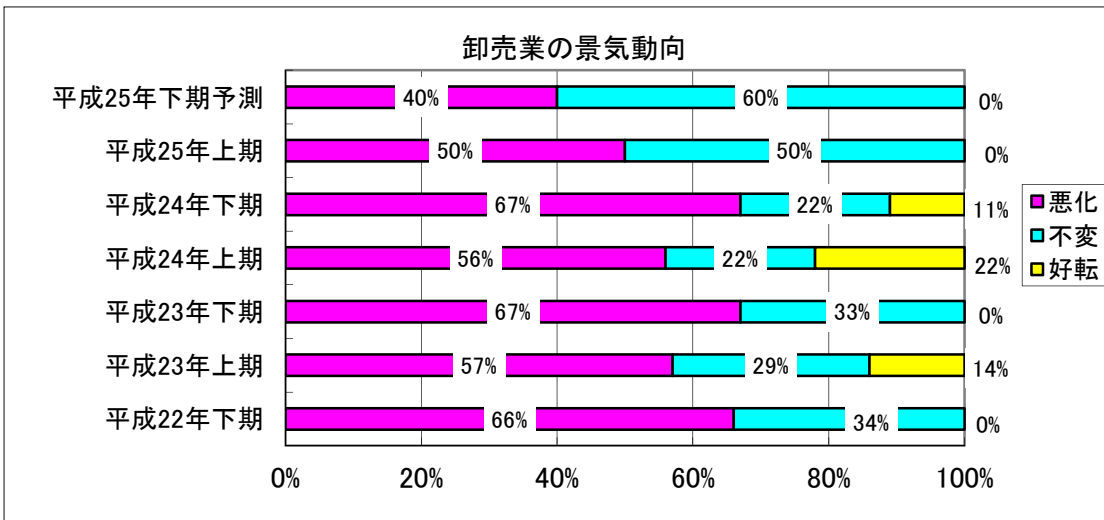


■サービス業

平成25年上期では「好転」が3%から10%とアップし、「悪化」が44%から37%へと減少している。下期の景気予測では21%の企業が「好転」と予測している。景気が徐々に改善されている。

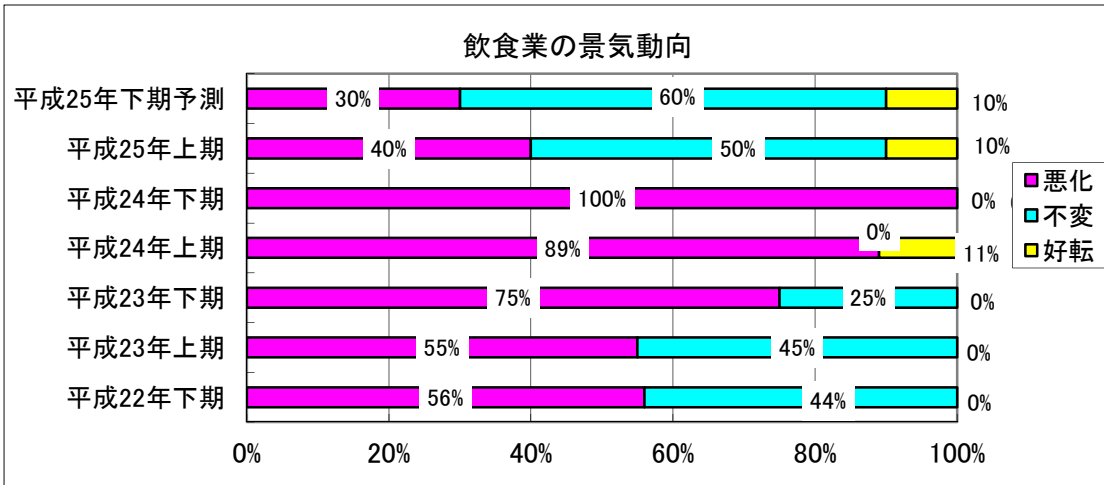
### ■卸売業

平成25年上期は「悪化」が50%と前回より減少しているものの、「好転」はなく「不変」が50%となっている。景気の停滞がみられる。下期の見通しもあまり良くない。



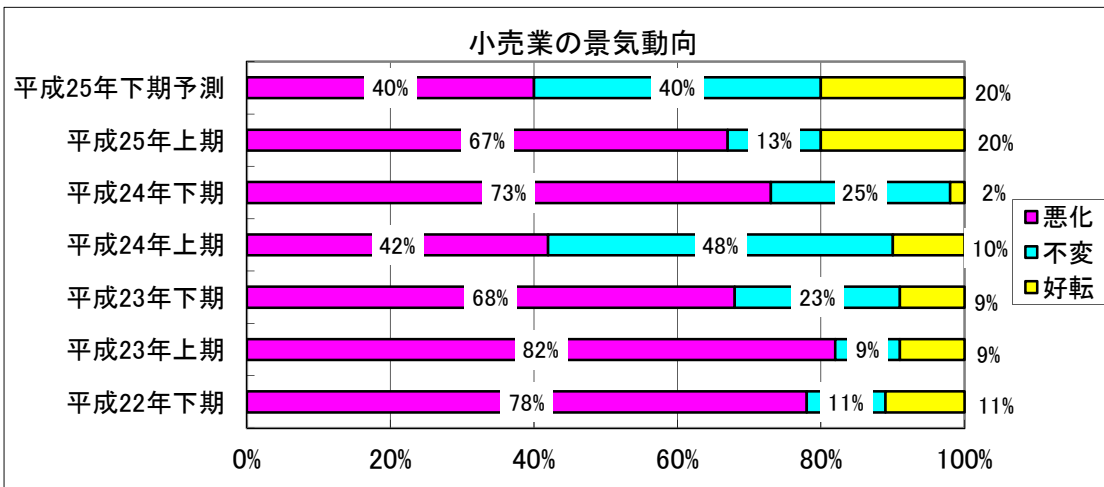
### ■飲食業

平成25年上期では「悪化」が前回100%から40%へと大きく減り、「好転」が10%となるなど景気の回復がみられる。下期の見通しでも「悪化」が30%に減るなど景気の期待感がみられる。



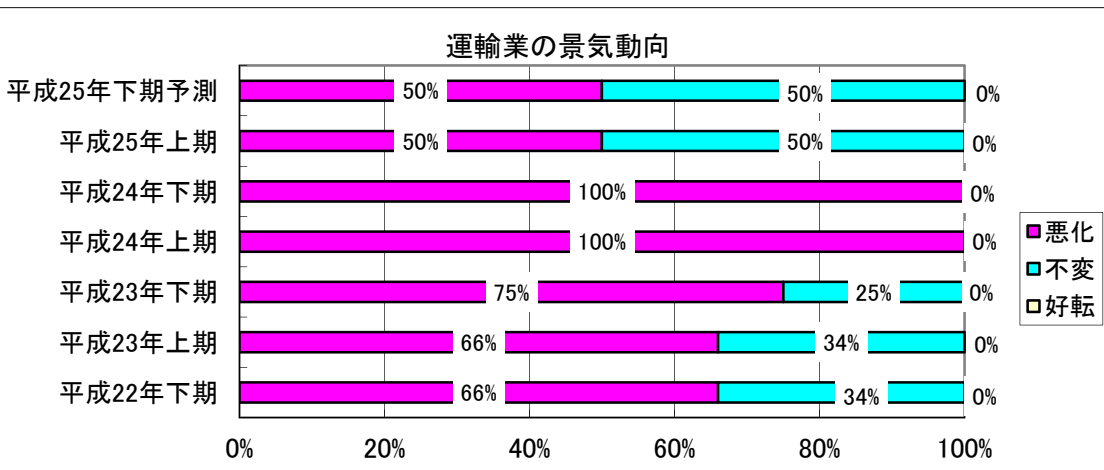
### ■小売業

平成25年度上期は、「好転」が20%と前回よりも18%アップし、「悪化」も67%と前回よりも6%減少し、景気の改善がみられる。下期の見通しでも期待感がかんじられる。



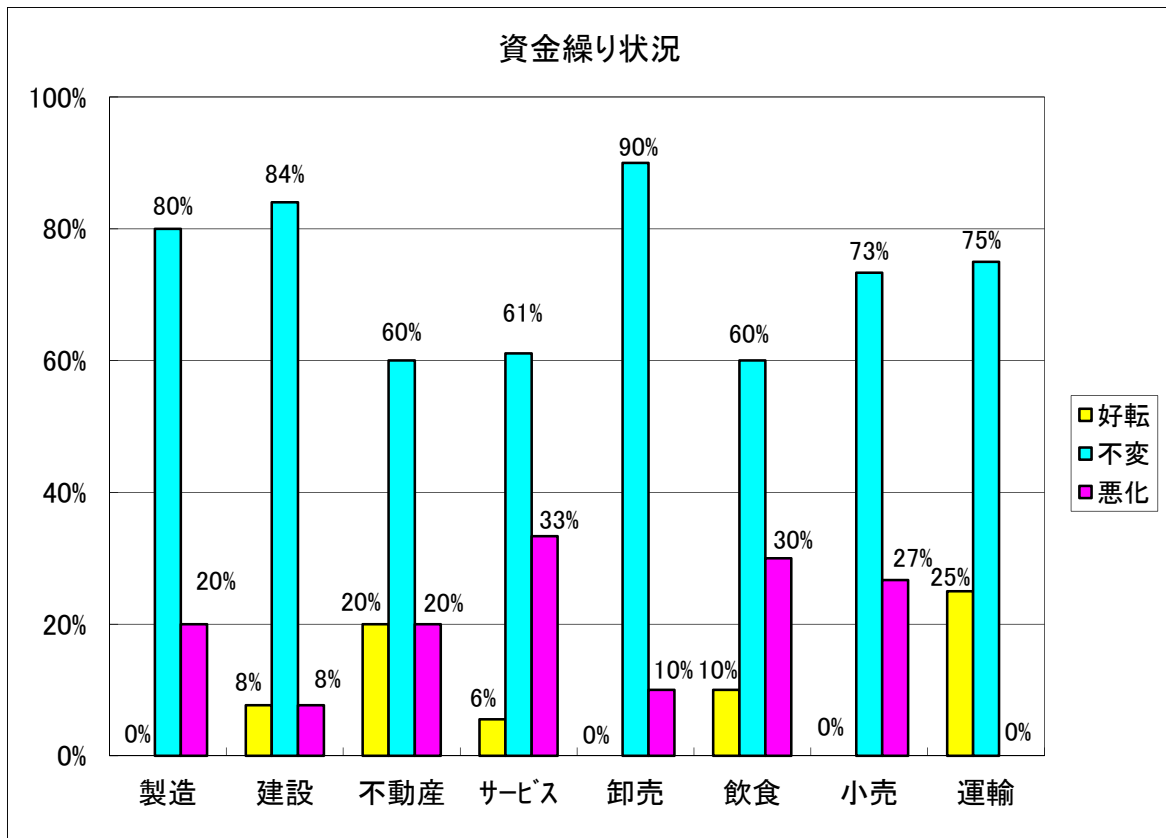
### ■運輸業

平成25年上期は、「好転」は見られず、「悪化」「不変」がともに50%となっており、厳しい景気動向である。下期の景気見通しでも依然として景気の回復は期待できない状況である。



## ⑥資金繰りについて

全体で見ると「不変」が73%（前回66%）、「悪化」が19%（前回29%）、「好転」が8%（前回5%）と回答している。業種で見るとサービス業33%、飲食30%と資金繰りの悪化がみられる。



## ⑦金融機関の融資状況について

全体的にみると「不変」が45%（前回45%）、「融資無し」が30%（前回29%）、「厳しい」が10%（前回12%）、「緩やか」が15%（前回14%）であった。今回の調査では大きな融資困難な状況はみられなかった。

